

学習・教育目標

数理・データサイエンス・AIを日常生活、仕事等の場で使いこなすことができる基礎的素養を身に付けます。また、学修した数理・データサイエンス・AIに関する知識・技能をもとに、これらを扱う際には、人間中心の適切な判断ができ、不安なく自らの意志でAI等の恩恵を享受し、これらを説明し活用できる能力を身につけます。

プログラムの修了要件

在籍する学部学科に関わらず、数理・データサイエンス・AIに関する科目を履修することを可能とした「学部横断型プログラム」です。教育プログラムを構成する導入・心得・基礎からなるプログラム学習内容（1）から（5）に対応した科目をそれぞれ2単位以上修得した場合、数理・データサイエンス・AI教育プログラムを修了したと認定します。

数理・データサイエンス・AI教育プログラム カリキュラム表

分類	プログラム学習内容	数理・データサイエンス・AI教育プログラム 科目群				修了要件
		1年次	2年次	3年次	4年次	
導入	（1）データ・AIは、現在進行中の社会変化（第4次産業革命、Society 5.0等）に深く寄与しているものであり、私たちの生活と密接に結びついていることを学ぶ	電気工学特別講義 ● 入門統計推計学 ●	地域社会学 ●●●	デザイン工学1 ● 人工知能 ● 電気電子工学通論2 ● 特許法 ●●● 臨床統計学 ●		2単位以上修得
	（2）社会で活用されているデータやデータの活用領域は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得ることを学ぶ	社会学 ●●● 社会統計学 ●●● 入門統計推計学 ●	社会学 ●●● 地域社会学 ●●● 社会統計学 ●●●	社会学 ●●● 社会統計学 ●●● 経営工学 ●●● 人工知能 ●●● 臨床統計学 ● 疾病の予防 ●		2単位以上修得
	（3）様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例を通し、数理・データサイエンス・AIは、様々な適用領域の知見と組み合わせることで価値を創出することを学ぶ	社会学 ●●● 社会統計学 ●●● 学術と地域文化1 ●	社会学 ●●● 社会統計学 ●●● 地域社会学 ●●● 学術と地域文化1 ●	社会学 ●●● 特許法 ●●● 社会統計学 ●●● 地域技術学 ●●● デザイン工学1 ●●● 人工知能 ●●● 臨床統計学 ● 生物統計学 ● 学術と地域文化1 ●	学術と地域文化1 ●	2単位以上修得
心得	（4）活用に当たっての様々な留意事項（個人情報保護、データ倫理等）を理解し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項を学ぶ	コンピュータ概論 ●●● コンピュータ演習1 ●●● コンピュータ演習2 ●●● 入門情報リテラシー ● 情報リテラシー ●				2単位以上修得
基礎	（5）実データ・実課題（学術データ等を含む）を用いた演習など、社会での実例を題材として「データを読む、説明する、扱う」といった基本的な活用法を学ぶ	社会統計学 ●●● コンピュータ演習1 ●●● コンピュータ演習2 ●●● 入門情報リテラシー ● 情報リテラシー ●	社会統計学 ●●● 確率・統計 ●●●	経営工学 ●●● 社会統計学 ●●● 生物統計学 ●●●		2単位以上修得